

担当者

シーン・マクドナルト Sean McDonald

メールアドレス pr@moogfoundation.org

電話番号 米国+828-545-9539

## 「ボブ・モーグ記念財団」設立のお知らせ

電子楽器のパイオニア＝ボブ・モーグ博士の業績を讃え、  
奨学金及び青少年指導奉仕プログラム等での  
支援を主な目的とする記念財団が設立

---2006年8月21日、米国・ノースカロライナ州・アッシュビル発---  
シンセサイザーの発明者として知られる故ロバート・A. モーグ博士の親族、  
友人、関係者は、モーグ博士の科学的発明、知的好奇心の顕著な遺産とそ  
の名誉を讃えるため新たな基金財団の設立を発表しました。

『エレクトロニック・ミュージックのためのボブ・モーグ記念財団』は、  
モーグ博士が晩年の25年を過ごした米国ノースカロライナ州アッシュビ  
ルに設立されました。

財団のディレクターを勤めるミシェル・モーグ・クウーサは、この財団の  
主な目的は4つで、そのための募金目標額を500万ドルとしています。

「私たちの第一歩は未来のミュージシャンに教育の機会を提供すること  
です」ミシェル・モーグ・クウーサ(博士の五人の子供の内の一人・三女)  
は言います。「父は常に教育の重要性について深く考えていました」

財団は、モーグ博士と彼の妻が教鞭を取った  
『ノースカロライナ州立大学・アッシュビル校』

そこで教員及び学生と活発にコラボレートした  
『パークリー音楽院』

自身が博士号を得た  
『コーネル大学』  
の各校にまず奨学金プログラムを提供する予定です。

加えて、  
『社会的な問題を抱えた子供達に電子楽器の提供し、そのトレーニングを通じて援助を行う青少年指導奉仕プログラムの作成』

『国際的な音楽コンクールの後援』

『ボブ・モーグ・メモリアル・ミュージアムのアッシュビルでの設立』  
を主な目的としています。

財団はモーグ博士の命日である 2006 年 8 月 21 日に、新しいウェブサイト [www.moogfoundation.org](http://www.moogfoundation.org) をスタートし、このサイトを通じて募金活動及び資金調達のアプローチを開始します。

モーグ・シンセサイザーと共に、米国ではテルミン(空間コントロールによる電子楽器)の製品開発でも知られたモーグ博士は、1年前の2005年8月21日に発見時には既に治療不可能とされた悪性脳腫瘍のため急逝しました。しかし、モーグ博士が音楽界に残した功績は決して消えることはなく、ビートルズ、ビーチボーイズ、スティーヴィー・ワンダー、イエス、EL&P を含む多くのミュージシャン、アーティストが過去に残した膨大なレコーディング作品を通じてそのサウンドが永遠に人々の耳に届くことはもちろん、今も博士が開発した楽器は世界中のミュージシャンに演奏され音楽をクリエイトする手助けをしています。

財団の運営については、リック・ウェイクマン(イエス)、キース・エマーソン(EL&P)、を含む数人のミュージシャンと、現在も博士のデザインした電子楽器を製造する『モーグ・ミュージック社』の役員が顧問会議の委員を勤め、執行理事会のメンバーを、モーグ博士の五人子供全員と妻であるイリアナ・グラムスが勤めます。

『エレクトロニック・ミュージックのためのボブ・モーグ記念財団』に関するより詳しい情報は、

[www.moogfoundation.org](http://www.moogfoundation.org)

を御参照ください。

Email(英語)でのお問い合わせは

[pr@moogfoundation.org](mailto:pr@moogfoundation.org)

をお願いいたします。

電話でのお問い合わせは、

米国+828-545-9539 (米国現地時間及び要英語での会話)

をお願いいたします。

● 日本語での Email によるお問い合わせは

[moogfoundjp@mac.com](mailto:moogfoundjp@mac.com)

をお願いいたします。

編集御担当者へ

『ボブ・モーグ記念財団』では、[www.moogfoundation.org/pr\\_](http://www.moogfoundation.org/pr_)にて、イメージ、オーディオ、ドキュメンタリー・ポッドキャストを含むデジタル媒体の資料を提供しています。

また、本件に関するインタビューの申し込みも受け付けております。